

地域と共に歩み、地域に根ざす学校をめざして

あわら市芦原小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項 目	回 数
地域・学校協議会	3 回
中学校区を単位とした協議会	0 回
地域及び家庭への学校公開	1 2 回 (のべ) 1 2 日

(2) 地域人材の活用 (のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	1 5 人
授業ボランティア (含: 低ボラ)	1 9 3 人
登下校支援ボランティア	2 5 人
その他 ()	人

(3) 特色ある活動

テーマ「地域のゲストティーチャーを招いて」

【さつまいもの苗植え】

1 年児童が、北潟在住の「専業農家」A さんに、さつまいもの苗植えの仕方を教わった。苗は A さんが実際に栽培している業務用の苗を無償でいただいた。実際に目の前で実演して下さり、とてもわかりやすかった。収穫の日 (9 月) にも来ていただき、共に豊作を喜ぶことができた。児童はお礼の気持ちを手紙に書いて渡した。



【豆腐づくり】

3 年生は、総合的な学習の実践として豆腐づくりをした。食育の学習と地域の人との交流をねらいにし、講師は B 豆腐店の B さんをお願いした。子どもたちも大豆が豆腐に変わっていく様子を目の当たりにして興味深く取り組んでいた。食に関する感謝の心も育った。

【道徳「ぼくは校門」】

今年 8 月に P T A の方々の努力で学校の校門が改修された。2 年生の道徳 (愛校心) の授業で、本校 P T A の校門建設委員長 C さんを招き、改修された校門に込められた願いについて話していただいた。

設計士や業者など工事関係者全員が本校の卒業生で、よい校門を作ろうと一生懸命がんばってくれたこと、30 年たった前の校門にも卒業生の思いがまつまっているので、それを活かした校門にしたこと等を話していただいた。子どもたちの心に残る心温まる授業であった。



成果と課題

地域のゲストティーチャーを授業に活用することは、子どもたちが「本物」に触れられるという意味で、教育効果は大きいことを実感した。今後も、積極的に地域の人材や題材を活用していきたい。そのためには、地域・学校協議会の委員の持つ人脈等を活用し、地域の題材や人材発掘について相談し、アドバイスを受けていきたいと考えている。

